

# 女性・子育て中の方へのお役立ち情報

道路状況などにより本紙の到着が  
発行日より遅れる場合がございます。

## 女性やお子さまに配慮した避難所運営のヒント

震災の影響でストレスが高まりやすい避難所の生活を、少しでも過ごしやすく・助け合いが生まれやすい環境にするために、女性や子育て中の方・介助が必要な方々に配慮したり、施設運営に女性が参画するなどの工夫をしている避難所があります。避難所の運営を担う方々にも、ご参考にいただければと思います。

-----〈避難所レイアウトの配慮〉-----

### ■ 間仕切り設置の“きっかけ”を作しましょう

プライバシーのために間仕切りを設置することが有効です。しかし隣の方への遠慮などから、自分から言い出せない場合が多いという声も聞きます。

そこで、ある避難所では、快晴の日に畳や布団を干して、みんなで一斉大掃除を呼びかけ、その機会に設置する工夫をしています。

### ■ 乳幼児のいる家族だけが滞在する部屋を作しましょう

専用スペース設置により、赤ちゃんの夜泣き声や授乳など、周りを気にせず、子育てができるようになります。お母さん同士の情報交換などにもつながります。

### ■ 土足厳禁エリアを徹底しましょう

ほこりも少なくなるなど、衛生面も改善されます。

-----〈女性ニーズの反映〉-----

### ■ 女性の意見を集約し、日常生活のルールを下記のように改善している避難所もあります。

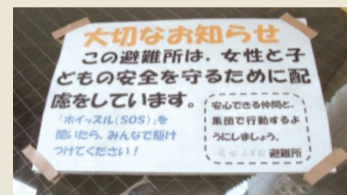
→男女別の入浴施設、更衣室、物干し場の設置。

→生理用品や女性用下着等の物資を手渡す

担当者を、必ず女性が担当。

→防犯ブザーやホイッスル(笛)を

配って、防犯対策を進める。



## 女性警察官による避難所巡回相談

### 『女性やお子さまがいらっしゃる方々の不安にお応えします』

- 子どもの学校の行き帰りが心配…
- 女性用の下着をどこに干せばいいの？
- 避難所が夜、真っ暗になってしまうので不安…
- お酒を飲んでいる人がいて怖い…
- プライバシーを確保してほしい…

女性警察官などが避難所を巡回し、こうした相談をお受けしています。

避難所がある地域の警察はもちろん、全国の警察から、

100人を超える女性警察官などが、多くの避難所を訪れています。

悩みや心配事があれば、お気軽にご相談ください。

女性や子育て中の方など、男性には相談しづらいことであっても、お話をうかがいます。みなさまから寄せられた要望を、関係機関などに伝達し、女性やお子さまに配慮した避難所運営がなされるためのお手伝いをさせていただきます。



被災された方のお話をうかがう女性警察官

■ お問い合わせ先: 警察署の相談窓口・警察総合電話 (#9110)

## ストレスの高まりに伴い、トラブルも生じやすくなります。

### ■ 女性の悩み全般: 県等の女性相談窓口

岩手県 019-606-1762 (毎日 9:00~16:00 火、金は 20:00まで)

宮城県 022-211-2570 (平日 8:30~16:45) 仙台市 022-224-8702 (日・祝日以外 9:00~15:30)

福島県 024-522-1010 (祝日以外 9:00~21:00)

※なお、福島県では各市町村の保健福祉事務所でも相談を受け付けています。(平日 8:30~17:15)

### ■ 配偶者からの暴力: DV相談ナビ 0570-0-55210 (24時間、自動音声)

※性犯罪の被害や捜査に関する相談は警察までお問い合わせください。

### ■ こどもの相談

チャイルドライン ☎0120-99-7777 ※18歳までの子ども専用電話です(月~土 16:00~21:00)(携帯通話可能)

児童相談所全国共通ダイヤル 0570-064-000 もしくは最寄りの児童相談所へ

次回第8号は4月28日(木)発行予定です。

目の不自由な方がいらっしゃいましたら、周りの方が読み上げてお伝えいただきますよう、お願いいたします。